

---

# 掲示板

偉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

掲示板

### 【ZZード】

N5380A

### 【作者名】

偉

### 【あらすじ】

とある有名なミュージシャン優が、ある日掲示板を見ていた。

いつからいつになつてしまつたのか…。僕が有名になつてしまつたから? 僕たちと近くになりすぎた…から?

『聞いて~! 今日優と会つちゃつた~もうすっごく格好よかつた~』  
あるファンサイトでの掲示板の書き込み。最初は大物ではないがミ  
ュージシャンである僕に会つて喜んでくれてるんだ…、そんな事を  
思つていた。ファンの子達が喜んでくれるなら…、僕を応援してくれ  
れるなら…僕はこの子達の望みをできる限り叶えてあげたかつた。  
『はあ? 優がそんなところにいるわけないじゃん。嘘ついて優の気  
をひこいとしても無理だよ』

しかしそんな僕の気持ちとは裏腹に、ファンの間で起つた中傷。僕  
の心にもトゲが刺さる。繰り返される言ひ合ひ、止まらない中傷と  
罵倒。

『最近そういうの多すぎ。ウザくない?』

何より大切な君たちの口からそんな言葉は聞きたくない…。やめて  
と心が鳴く、見たくないと視界は滲む。僕は君たちのお陰でここに  
いるんだよ?なのに君たち同士が傷つけあっても、嬉しくないよ。  
僕がここにいるが為に傷つけあつなら、僕はここにいたくない。  
滲む視界でキーボードを叩く。

『…お願い、そんな言ひ合ひは止めて。優しく包んで応援してくれ  
たように、君たちも…優しい君たちでいて。』

それから僕は掲示板は見なくなつた。ファンにも近づかなくなつた。

ファンは減つた。

でも君たちが痛い言葉を使わなくなつたなら、それでいいと想つ。  
だから僕はついてくれる君たちの為に曲を綴ろつ。

瞬間でも僕を愛してくれたあの子達にも、感謝と謝罪を。

『君たちがいたから僕は今ここにいる、ありがとう。そして「めん  
なさい』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5380a/>

---

掲示板

2011年1月11日03時47分発行